

# 大桑 まさたか

29歳  
無所属



サラリーマンから<sup>しせい</sup>市政にチャレンジ!

私たち市民が政治に参加する流れを作ります!

栄区から、しがらみのない政治を実現します!

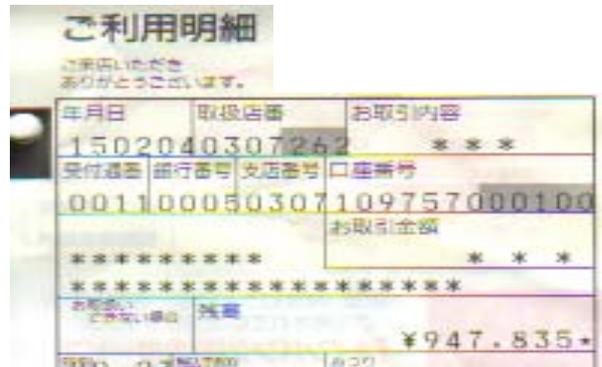
自分の貯金

政治活動資金 100万円からスタート(^0^)  
2月8日現在の政治活動資金 残高  
**94万7835円**

前回までの合計	186,835 円
大桑新聞印刷代	46,000 円
郵便代	5,800 円
通信費	2,500 円
<b>合計(使ったお金)</b>	<b>241,135 円</b>

12月で会社を辞めました!

毎日 駅に立つために、  
毎日 みなさまとお会いするために。  
JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで



カンパ + 188,970 円

多くの方からカンパをいただきました! 本当にありがとうございます。  
みなさまの「気持ち」を大切に、1円も無駄にしない活動を「あきらめず」にやりつづけていきます。

まずは自分のできるところから、**情報公開**の徹底です! (^0^)/

## 大桑新聞 プロフィール 大桑正貴(まさたか) 第4号

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0002 神奈川県横浜市栄区小山台1-20-16  
TEL&FAX : 045-895-2440  
携帯電話 : 070-6511-1295

<http://www.5a.biglobe.ne.jp/m-okuwa/>  
E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年7月4日生まれ横浜育ち 29歳 血液型A型  
横浜市立小山台小学校入学  
大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)  
神奈川県立大岡高校卒業  
神奈川大学法学部法律学科卒業  
派遣会社アシスト株式会社へ就職  
2002年12月 派遣会社アシスト株式会社 退職

**若者政治家養成塾在籍(第1期生)**

趣味 : サッカー、バスケットボール  
家族 : 両親、第二人、ママ(ねこ)

**ボランティア大募集!** TEL&FAX:045-895-2440  
大桑と一緒に、泣いたり、笑ったり、喜んだりしてくれる人を募集しています。

討議資料

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅いずれかの駅で配布しております。

## 大桑まさたかは、なぜ横浜市議会を目指すのか？

大学時代に地方自治・地域政治を専攻し、そこで恩師にいただいた言葉、「そんなに好きなら君が政治家になればいいじゃないか」。これが私の原点です。時を同じくして、元サラリーマンで現逗子市長の長島一由氏(当時鎌倉市議会議員)・やはりサラリーマンから藤沢市議会議員になられた井手拓也氏の活動に参加し、本当の「市民政治」の可能性を強く意識するようになりました。その後私も就職をし、サラリーマンとして生活を送ってきましたが、「このままでは政治は変わらない」という文句ばかりがアタマをよぎるようになります。

そこで決断し、「**まず私が変わりました**」。

地盤・看板・カバン(資金)はありません。でも志とやる気は誰にも負けません。私たちの暮らす栄区を、横浜市をずっと好きでいるために、もっと好きになるために。

「**あきらめずにやりつづけること**」…これが大桑まさたかの新しい原点です。

## 大桑まさたかは、若者政治家養成塾の第1期生です！

私は政党に属していません。「**しがらみのない政治**」を実現するために、無所属を選択しています。

現在、志を同じくする若者と、「**若者政治家養成塾**」でともに学んでいます。塾生はみな、地方(自分のまち)から政治を変えて(良くして)いこう、という想いのみでつながっています。

私にとってその想いは、「**横浜市議会から変えて(良くして)いこう**」という**決意**になります。

## 公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます(情報公開)。
- 2、**大桑まさたか**の政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくりまします(しがらみをなくす)。

## 政策

**無駄をなくし**私たち市民が本当に**必要なモノ**にお金を使う！

- 1、**横浜市の事業・市役所の業務を見直す**

この不況の時代、アレもコレではなく、アレかコレか選択の時代です！

- 2、**56ある横浜市の外郭団体の総点検**

市からの財政援助の見直し、また外郭団体の整理・統合及び活性化を！

- 3、**老人ホーム、託児所などは充実させる**

私たちにとって暮らしやすいまちづくりに施設は必要です！



横浜市は2005年から公共事業に電子入札制度を取り入れる予定。これにより大幅なコスト削減(年間約200億円ともいわれています)が期待できます。このように節約できたお金も、ほうっておくと、今まで通り「しがらみのある」事業等に使われてしまいます。

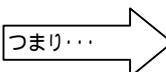
**私たち市民が本当に必要なモノにお金を使うために、  
大桑まさたかと一緒にしがらみのない政治を実現しましょう！**

**平成14年までの横浜市としての借金は**横浜市の借金(市債)として**4兆9906億円**、  
56ある横浜市の市の外郭団体の借金(借入金)として**1兆2千260億円**。

**約6兆2千億円**に増えました。

市債残高と市の外郭団体の借入金をあわせた市の借金は、**6兆2166億円**と確定(1月31日付神奈川新聞より)  
1月30日に中田市長が発表した市財政見通しの中で、市の外郭団体に約1兆2千億分の借金がある事が判明。

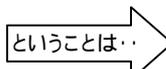
横浜市の人口は  
約350万人



市民1人あたり(約40万円増えました)  
約180万円の借金！

生まれたばかりの  
赤ちゃんから  
お年寄りまで  
**みな平等**

平成14年度の予算は  
約2兆5千億円



年収500万円の人が  
1250万円の借金！